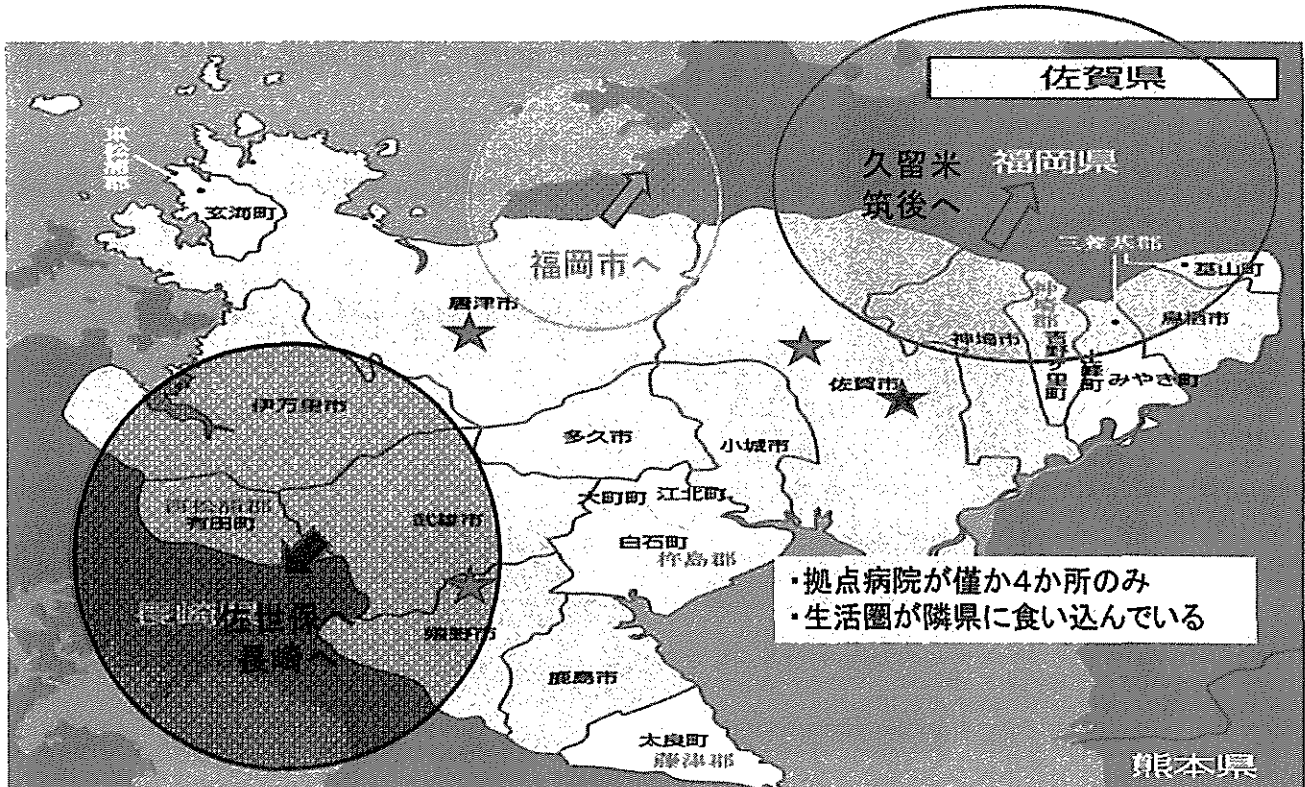


相談支援センターが地域に根付いた グッドプラクティスと課題

地方独立行政法人 佐賀県立病院好生館

館長 榑木 等
がん診療部長 佐藤 清治
相談支援センター 医療相談係長 大石 美穂

生活圏域と受診・相談の傾向

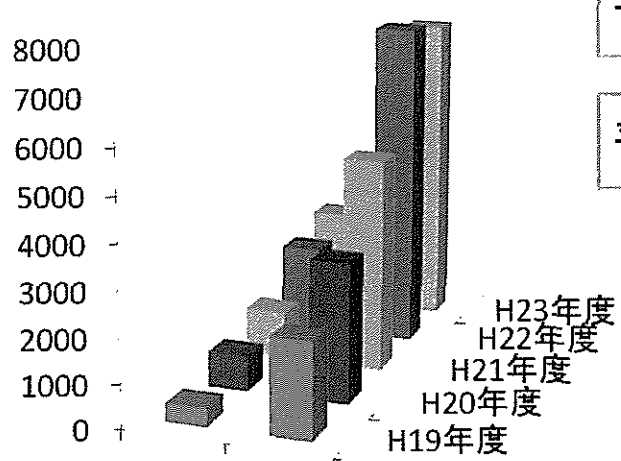


当館相談支援センターの概要

- 許可病床数
453床（感染症病床：6床・
一般病床：447床）
- 平均外来患者数
約700人/日
(H24・10月現在)
- 平均在院日数
約13.3日 (H24・10月現在)
- 相談支援センター15名
地域医療連携係 7名
看護師 3名 事務 4名
医療相談係 7名
MSW 5名・
事務補助 2名
(H24. 11月1日現在)

- 地域がん診療連携拠点病院
- 救命救急センター
- 地域医療支援病院
- 基幹災害拠点病院
- エイズ拠点病院
- 開放型病院
- 臓器提供病院
- 臨床研修指定病院
- 関連教育病院

当館相談支援センターの5年間の実績



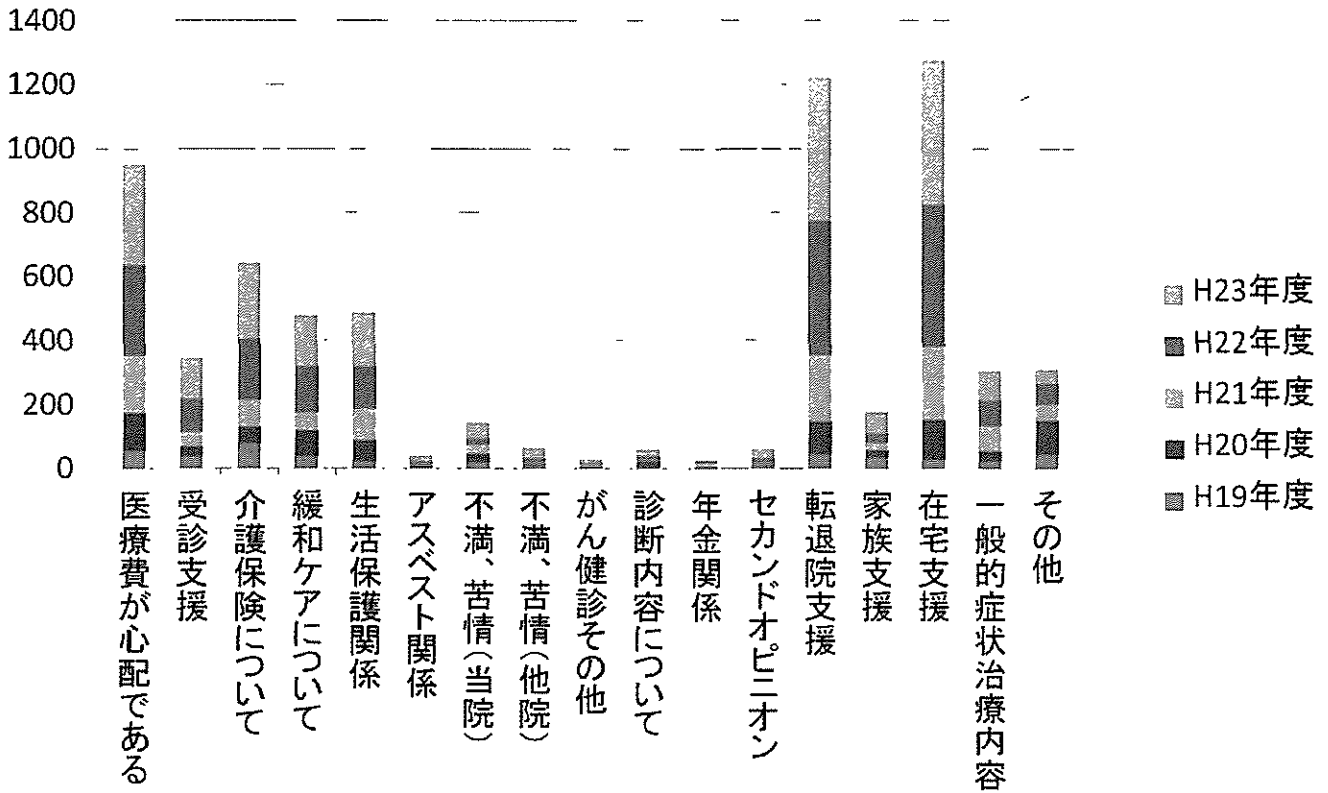
平成21年度は社会福祉士が3名に増員

平成23年度は社会福祉士が5名に増員

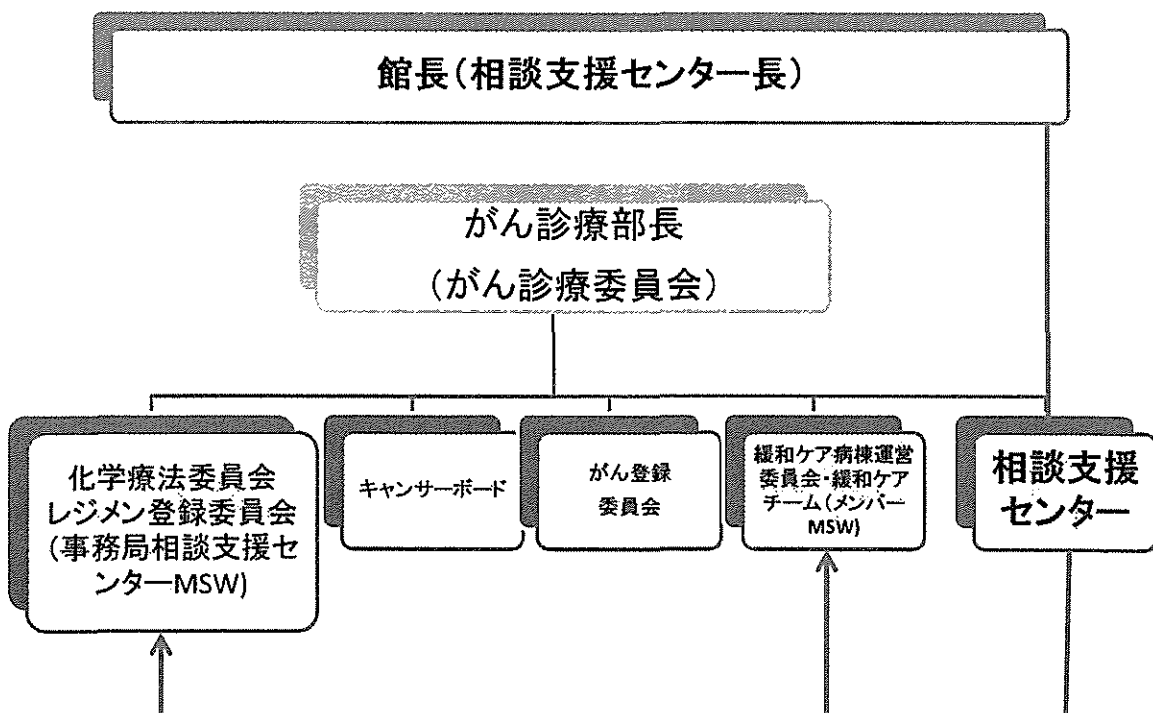
平成23年度はがん相談は増加

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
がん相談	432	808	1106	1992	2270
医療相談全体	2174	3149	4843	7406	7118

当館相談支援センターの5年間の実績



グッドプラクティス① 当館のがん診療の体制



グッドプラクティス①

当館のがん診療関連の体制

館長直属の部署

・館長が相談支援センター長であることで、報連相の迅速化が期待できる

化学療法委員会事務局は相談支援センター

・事務局を担うことで、相談支援に不足しがちな化学療法の知識が得られ、化学療法実施前・中の患者家族の現状を委員会委員全員に報告できる

館内の横断的活動のなかで生まれる相談支援

・緩和ケアチームとして多職種の活動のなかで受ける患者や家族からの相談が増えた

グッドプラクティス②

ツール活用での周知

こんなとき、相談支援センターへ
ご相談ください

相談時間	相談場所
9:00～17:00	1階
9:00～17:00	2階
9:00～17:00	3階
9:00～17:00	4階
9:00～17:00	5階
9:00～17:00	6階
9:00～17:00	7階
9:00～17:00	8階
9:00～17:00	9階
9:00～17:00	10階
9:00～17:00	11階
9:00～17:00	12階
9:00～17:00	13階
9:00～17:00	14階
9:00～17:00	15階
9:00～17:00	16階
9:00～17:00	17階
9:00～17:00	18階
9:00～17:00	19階
9:00～17:00	20階
9:00～17:00	21階
9:00～17:00	22階
9:00～17:00	23階
9:00～17:00	24階
9:00～17:00	25階
9:00～17:00	26階
9:00～17:00	27階
9:00～17:00	28階
9:00～17:00	29階
9:00～17:00	30階

佐賀県立病院好生館
相談支援センター
面談相談 電話相談
【相談時間】9:00～17:00
土日祝日は休み
〒840-8511 佐賀県佐賀市水ヶ江1-12-9
TEL.0952-28-1158

【館内】
各階エレベーターの壁に掲示

【地域】
毎年度4月に圏域と東部地区医療機関や行政に送付
市内公民館全部に配布

がん県民公開講座開催事務局としても上記同様の配布と、佐賀駅前でのチラシ配布

グッドプラクティス② ツール活用での周知



STSサガテレビでのPR

・「教えてDr.医療ナビ」
佐賀県健康増進課からの提案

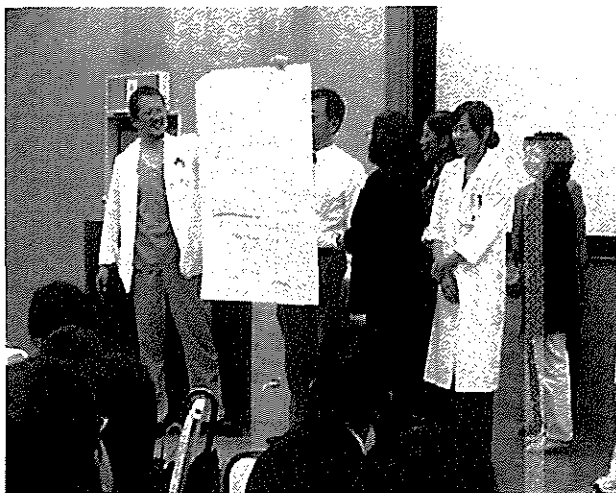
県民からの「がん患者必携に
ついて知りたい」という相談には
相談員が答える



・「健康バンバン」
当館十時理事長の発案で実現

グッドプラクティス③ 地域多職種集合場面での周知

緩和ケア症例検討会



医師・歯科医師・薬剤師・看護師・社会福祉士・ケアマネー
ジャー・介護福祉士・歯科衛生士等

グッドプラクティス③

地域多職種集合場面での周知

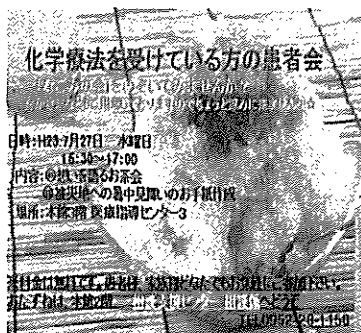
有床診療所・訪問診療・訪問看護・居宅介護支援事業所連絡会
在宅支援に向けての退院前カンファレンス



グッドプラクティス④

患者のニーズに応えた場面での周知

化学療法患者会



腫瘍内科部長・がん診療部長・医師・化学療法認定看護師・看護師・かつら関係事業者・

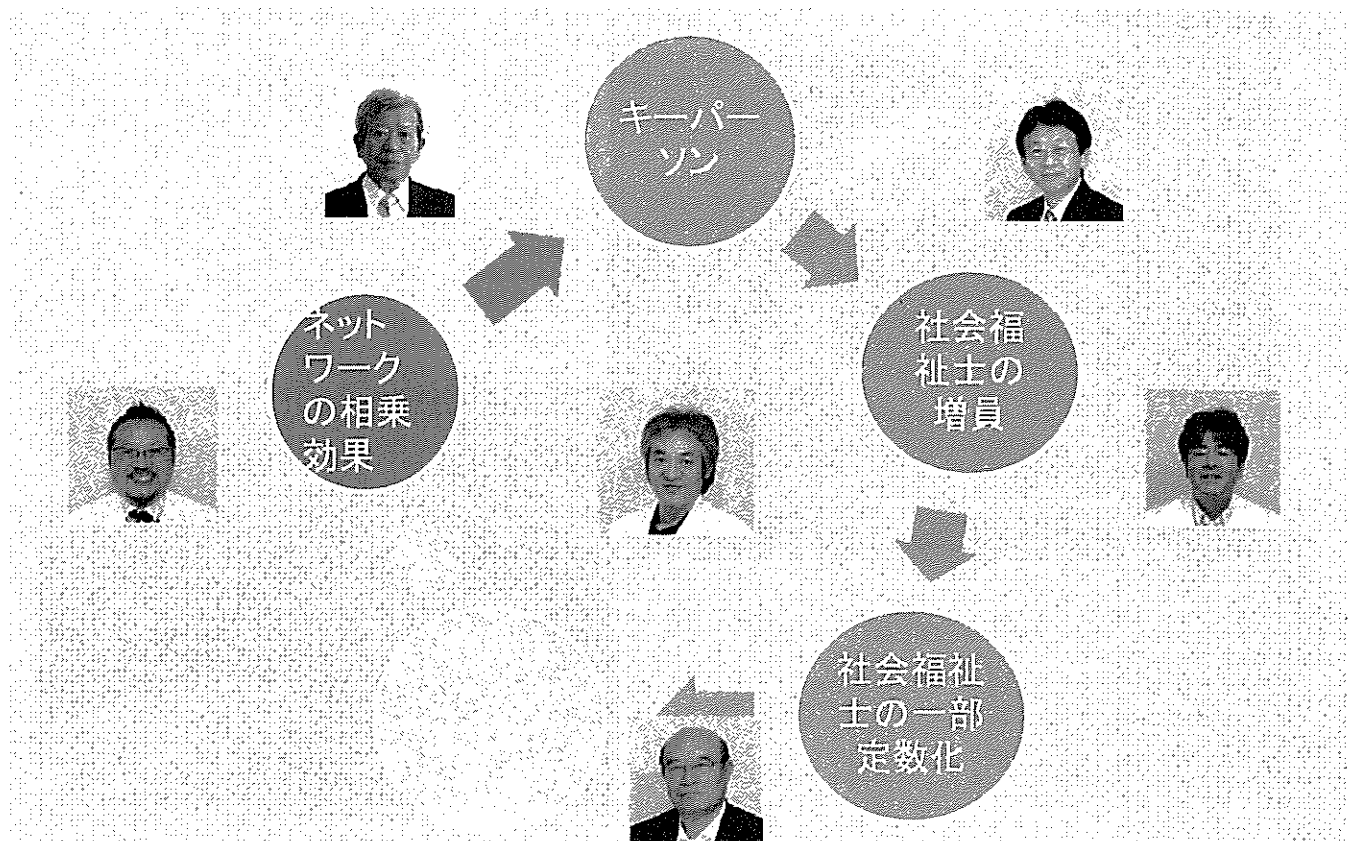
グッドプラクティス③④

地域多職種集合場面での周知

相談ニーズより、各取組の実施

- ・在宅療養の不安
 - ⇒緩和ケア症例検討会等の企画立案(1回/隔月)
 - ⇒退院前カンファレンスの調整(随時)
- ・化学療法開始前・中の療養・医療費・就労の不安
 - ⇒化学療法患者会の企画・立案(1回/隔月)

周知に至った要因



課題： 拠点病院で必要な教育・学習の場

研修・教育・学習内容	提供場所・単位	想定される受講者	受け易さ
I 基本的なスキル 基礎研修(1)(2)(3)	中央一括	相談支援センター相談員全員	・補助金活用で受講しやすい ・院内バックアップ体制もとり易い
II ・相談支援センター周知・アピール、広報の仕方に関する研修 ・地域ニーズに則した研修の企画・立案研修	中央一括が望ましい	相談支援センター指導的立場の相談員	・補助金の活用が受けにくく受講し難い ・院内バックアップ体制もとり難い ⇒受けやすくなる支援を願いたい
III 地域特性のニーズに合わせた研修	各拠点病院での開催	訪問診療の医師・訪問看護師・居宅介護支援事業所の介護支援専門員等	IIの研修受講等が反映されれば、プレゼンのコツをつかみ、院内了承が得やすくなると類推



今後ともご指導頂きますよう、お願い申し上げます

